



高輪台

10月号

港区立高輪台小学校

〒108-0074 東京都港区高輪2-8-24 <http://takanawadai-es.minato-tyo.ed.jp/>

TEL: 03(5447)0616

FAX: 03(5447)5335

㊦くましく ㊧しこく ㊨かよく ㊩くわくする ㊪れにとっても ㊫ごちのよい 小学校

学校は何のためにあるのか

副校長

ようやく少し涼しくなり、子どもたちが安心して校庭で遊べる気候になってきました。休み時間に元気に遊ぶ声を聞くのが楽しいひとときとなっております。

「あ、副校長先生だ!」と手を振ってくれる子もいて、嬉しく思うとともに、今までかかわった子どもたちのことを思い出し、あの子元気かなあ、と考える時間もまた楽しいものです。私も数年前までは担任をしていたので、自分の学級の子どもたちと、休み時間にいろいろなお話をしました。そんな時間が私は大好きでした。その中で、たまに聞かれたことで、「先生、なぜ学校って行かなきゃいけないの?」という質問がありました。

「なぜ学校に行くのか?」に対していつも私は、「学校は、修行の場なんだよ。」と答えていました。ちょうどその頃は、テレビで、忍たま乱太郎という忍者の学校を舞台とするアニメが放送されていたので、子どもたちは、「僕たちは忍者みたいに毎日修行しているんだね。ニンニン!」と忍者の真似をして嬉しそうに話していました。

私は、学校の一番の目的は、子どもたちが、一人で自立して生活できるように成長する、手助けをすることだと思っています。ゴールは、子どもたちが保護者の方の力を借りずに、自分の力で、社会で生き抜けるようになることです。

でも、人間は、初めから何でもできる訳ではありません。みんな誰でも赤ちゃんで生まれて、毎日少しずつ成長していきます。特に、小学生時代は、大きく成長する時期だと思います。私は、そんな大切な時期にたくさん子どもにかかわり、成長させることができる先生になりたくて、小学校の教員になりました。きっと、多くの教職員も同じ気持ちだと思います。

自分の力で生き抜けることをゴールとすると、たくさんの力が必要になってきます。学習や運動自体ももちろんですが、苦手なことに対して頑張ろう、とチャレンジする気持ちや、友達とけんかしても、ごめんねと反省し謝り、許し合ってまた仲良くする優しさや、自分の意見だけではなく、他の人の意見も取り入れて、意見をまとめていこうとする力等は、必ず必要になってきますし、生き抜くのに大切な力です。でも、それらの力は突然付くわけではなく、毎日の学校生活や家庭生活の中で、失敗を重ねながら、少しずつ身に付いていくものだと思います。

だから、学校は、修行の場だと、私は思っています。

さらに人間が成長するには、少し頑張ればできることにチャレンジし、できたことで自信を付け、どんどん次のステップに自ら進んでいくことが必要で、最も早く成長すると聞きました。既にできることばかりを繰り返してはなかなか成長しないそうです。

子どもたちに少しだけ負荷のかかる課題を設定し、「できた。」という喜びを感じさせられる授業ができるか、が学校教育での教師の腕の見せどころです。少し苦手なことにも挑戦させていきますので、ご家庭でも同じように伝え、お子さんを励ましていただければと思います。

大切な子どもたちの人生が、幸多き人生となりますよう、教職員一同頑張っていきたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

お知らせとお願い

○来年度に向けた学校説明会（体育館にて）

10月4日（土）10:00～10:30

※体育館ですので、スリッパなど上履きと下履き入れ用の袋をお持ちください

※受付は9:50から開始します。

※事前予約は不要です。本校受付でご記名いただきます。

○学校公開について

10月3日（金）授業公開：1時間目から5時間目まで

※給食の時間は、公開しておりません。

※3日、4日ともに保護者の方は名札をお持ちください。

※体育館での授業の場合は、スリッパなど上履きと下履き入れ用の袋をお持ちください

10月4日（土）授業公開：1時間目から3時間目まで

○朝会での表彰について

児童の活躍について、全校朝会での表彰には、原則下記のような基準を設けました。授業時間確保のためでもあり、保護者の皆様方におかれましてはご承知おきくださいますようお願いいたします。

- ① 学校で応募したものが入賞・表彰された場合
- ② 港区教育委員会表彰に類する基準（予選などを経て東京都大会以上の大会での優勝以上、地域貢献など地域に良い影響をもたらしたものなど）を満たす場合

10月の目標

ものを大切にしよう

生活指導部

教室、廊下、校庭と、学校の中には落とし主不明の拾得物が時々見られます。

落とし物の引き取り手がいない理由は、いくつかあります。「なくしたことに気付いていない。」「なくしたことに気付いているが、探さずに補充している。」などです。まずは、持ち物を大切にする気持ちが大切です。ものを与えられていることが多い子どもたちは、一つ一つのものを大切にすることを忘れてしまうこともあります。

そこで、ご家庭でまず実践していただきたいのが、「お子さんと一緒に子ども自身の持ち物に記名をすること」です。記名することで自分の持ち物に所有感をもち、ものを買ってくれた家族、作ってくれた人たちへの感謝の気持ちをもつこと、自分自身を大切にすることにもつながります。落とし物が増えないよう、また、落としても一生懸命探す子が増えるよう指導していきます。

水泳指導

水泳担当

水泳は、多くの子どもたちが楽しみにしている学習の1つです。猛暑日や雨の影響で中止になってしまうこともありますが、9月の実施期間を延ばし、子どもたちが少しでも水泳に取り組めることができるよう工夫して実施しました。水泳の学習では、大きく3つのことを指導します。①水に慣れたり泳いだりできること②体力向上を図ること③自分の身の安全を守ることです。

①については、検定という明確な目標があるため、子どもは自分の立てた目標に向かって水泳に取り組みます。できるようになったことが分かりやすいので、達成感も感じやすいです。一方、②③については、なかなか実感を伴って学びを深めることは難しかったように思います。特に、夏休みは、毎年のように水に関する悲しいニュースを耳にしました。命を守るといふ観点からも、子どもたち自身が安全を意識して学びを深められるような指導を継続していきます。



前を向いて、歩き続ける勇気 ～中川さんとの出会いから学んだこと～

【TTプロジェクト】

6年担任

先日、私たちの学校で特別な授業が行われました。ゲストとして来てくださったのは、バスケットボール日本代表として活躍された中川 聡乃さんです。授業の前半では、実際にバスケットボールの練習やミニゲームも体験しました。授業の後半では、中川さんから貴重なお話を聞くことができました。お話の中で印象に残ったのは、何度も繰り返されたけがとの闘いです。選手としてのキャリアの中で、大きなけがに悩まされ、コートに立てない時期もあったそうです。そして何よりも心に響いたのは、中川さんの「前進あるのみ」という言葉です。たとえゆっくりでも、止まらずに前に進むことが大切。夢に向かって努力を続けることは簡単ではないけれど、あきらめずに一歩ずつ歩いていけば、いつかその夢に近付けるかもしれない。そんな勇気をもらいました。



高輪台ルームより

特別支援教室/高輪台ルーム 特別支援教育コーディネーター

平成28年度から、発達について気になる児童を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するため、本校において通級指導を行う特別支援教室（高輪台ルーム）を開室しております。

高輪台ルームでは、拠点校の御田小学校から3名の巡回指導教員が来校して、子どもたちの実態に応じて個別学習と小集団学習での指導を行っています。

個別学習では、個々の特性に合わせてソーシャルスキルトレーニングや、ビジョントレーニング、自己理解などの学習に取り組んでいます。小集団学習では、感覚統合をベースにした運動をしたり、友達と協力して活動したり、相手を意識した関わりができるように取り組んでいます。

学習の例として、「気持ちの切り替え方」について紹介します。高輪台ルームでは、上手いかわなくて「イライラ」したり、思い通りにならなくて「モヤモヤ」したりするとき、どうすれば気持ちを落ち着かせることができるのかという解決方法を自分なりに見付けられるようにしています。

令和8年度1学期の特別支援教室の通級及びSNAの配置の申し込みについて

今年度より、通常の学級内での一斉指導における個別的な支援や、学校生活を送るうえでの困難さをもつ児童を支援するためのSNA（スペシャルニーズアシスタント）が配置されています。

特別支援教室の通級やSNAの配置を希望される保護者の方は、10月31日（金）までに、担任、特別支援教育コーディネーター、または副校長までご相談ください。

給食室より

栄養士



給食では、日本の季節を味わってほしいと考え、ご節句に因んだ献立やお月見献立、冬至や節分といった昔の暦にゆかりのある献立の提供を心掛けています。また、給食室内の衛生管理の徹底や生で食べる果物については特別栽培農産物を使用するなど安全安心な給食を提供しています。令和3年度からは港区の商店街とのコラボ給食事業が始まり、区内の様々な商店街の味が給食に登場しています。

食に関する活動は、学校給食法や食育基本法の目的に沿って行っています。体験的な学習として、1年生がとうもろこしの皮むき、2年生がグリンピースのさやむきをしました。実施後の感想には、とても楽しかったというものが多くみられました。

給食時間には、その日のメニューに関連した食材の旬・料理・栄養素・行事・SDGsに関するおたよりを各学級に毎日配布しています。

5・6年生の委員会活動では、保健給食委員会の児童が、玄関にあるホワイトボードにその日の給食の使用食材を栄養素別に記入する、残菜調べ、リクエスト給食など様々な活動をしています。残菜調べは大変な活動ですが、全員で協力し校内に結果を掲示しています。

児童のさまざまな学びにつながる要素があり、生きる力を育むのが「食」の分野です。毎日の給食や食に関する活動で五感を刺激しながら、児童の健やかな成長や学習を支えていきたいと思います。

読書の秋

図書担当

10月2日（木）～10月31日（金）【1か月間】は読書月間です。図書委員の児童が読書月間中の企画を考えました。読書の楽しさを味わったり、読書の習慣を身に付けたりすることを目的として、次の取り組みを行います。

（1）ふくブックろ

- ・興味があるキーワードの本を借ります。借りるまで本のタイトルや内容はお楽しみ！

（2）読書スタンプ

- ・図書館で本を借り、本の冊数分、図書委員にスタンプをもらいます。
- ・1年生は10冊分、2年生は15冊分、中・高学年は5冊分スタンプがたまったら、図書委員が作ったしおりをもらえます。

（3）図書委員会おすすめの本紹介の掲示

- ・図書委員会の児童が、低・中・高学年ごとにおすすめの本紹介カードを書きます。

